

※様式を変更しました。必ず新様式で提出してください。

(別記第1号様式)

長岡市自主防災会活動実施報告書
(兼 活動報償金交付申請書)

申請者は
自主防災会です

長岡市長様

団体名: 大手通町 自主防災会
代表者 〒940-0062
住所: 長岡市大手通1丁目4番10号
代表者
氏名: 会長 防災 太郎
電話: (0258) 39-2262

下記のとおり、自主防災活動を実施しましたので報告、申請します。

1 活動の内容

合同訓練を行った場合でも自団体のみの参加人数を記入してください。

実施日時	令和 <u>〇</u>	人数	<u>84</u> 名
地域	<input checked="" type="checkbox"/> 長岡地域 <input type="checkbox"/> 中之島地域 <input type="checkbox"/> 越路地域 <input type="checkbox"/> 三島地域 <input type="checkbox"/> 山古志地域 <input type="checkbox"/> 和島地域 <input type="checkbox"/> 寺泊地域 <input type="checkbox"/> 栃尾地域 <input type="checkbox"/> 与板地域 <input type="checkbox"/> 川口地域		
実施場所	裏面の防災活動内容をご覧の上チェックをお願いします。		
活動内容	想定災害	<input type="checkbox"/> 土砂災害 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 津波 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	訓練方針	<input type="checkbox"/> 単独訓練 <input type="checkbox"/> 合同訓練 (地区・連合)	
	活動項目 ※裏面参照	<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報伝達 <input checked="" type="checkbox"/> 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認 <input type="checkbox"/> 要支援者避難支援) <input type="checkbox"/> 避難所運営訓練 <input type="checkbox"/> 講師派遣による講話・講座 <input checked="" type="checkbox"/> 資機材点検 <input type="checkbox"/> 救助救出訓練 <input type="checkbox"/> 初期消火訓練 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	講習機関	<input checked="" type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 中越市民防災安全士会 <input type="checkbox"/> 危機管理防災本部 <input type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 支所 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	活動計画 (活動前)	訓練前に情報伝達用の名簿を作成し、作成した名簿を基に、自主防災会長→班長→住民の順で避難情報を伝達した後、大手通公園への避難、要支援者の安否確認(要支援者住宅への声掛け)、点呼までを実施。 避難訓練後、防災倉庫内の物資を確認し、住民に対して使い方等の説明を行う。	
成果・課題 (活動後)	電話で情報伝達を行ったが、最後まで伝達するまでにかかり時間がかかってしまったため、LINE等での情報伝達方法を検討する。 また、平日日中等の若い世代がいない際の要支援者への対応を検討する。 防災資機材の点検で発電機の故障が見つかったため、今年度中に修理を行う。		

2 自主防災会の構成世帯数 125 世帯
※令和8年4月1現在の世帯数を記入してください。

3 中越市民防災安全大学受講 1 人 (うち学生 0 人)
※中越市民防災安全士の認定証の写しを添付してください。(令和8年度受講分が対象)

4 添付書類

危機管理防災本部記入欄

(1) 活動項目でチェックした訓練の様子が確認できる写真 (3枚程度)

※集合写真は不可

支給決定額

(2) 訓練振り返りシート

※避難訓練 (情報伝達、避難、安否確認、要支援者)

活動項目にチェックした防災活動の内容や様子が確認できる写真にしてください。(集合写真不可)

(3) 長岡市自主防災会活動報償金口座振替申請書 (別記第2号様式)

合計 円

(4) 口座通帳の表面と見開きの写し

※氏名、口座番号、団体名の記載

提出期限に関わらず、速やかにご提出ください。

提出期限令和9年3月12日(金曜日)まで

出水期前訓練の案内に同封しています。

ながおか防災ホームページからもダウンロードできます。

<https://www.bousai.city.nagaoka.niigata.jp/preparing/local-disaster-prevention.html>

手順に沿って実施してください。

防災活動内容

■避難訓練

避難訓練を行った場合は「訓練振り返りシート」を必ず提出してください。

・情報伝達

- 手順① 電話や SNS を活用して連絡体制（連絡網など）を整える。
- 手順② 世帯の状況により、直接訪問するなど複数の伝達手段を検討する。
- 手順③ 市からの避難情報等を連絡体制に従って伝達する。
- 手順④ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば連絡体制の見直しを行う。

・避難行動

- 手順① 想定災害や発災時の状況に応じた避難計画（避難先や経路等）を各世帯で検討する。
- 手順② 自主防災会はそれらの把握に努める。
- 手順③ 避難計画にしたがって実際に避難する。
- 手順④ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば避難計画の見直しを行う。

・安否確認

- 手順① 避難計画を踏まえ、確認方法の検討や名簿の作成など、安否確認の体制を整える。
- 手順② 避難行動の後、体制に従って安否確認を行う。
- 手順③ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば確認体制の見直しを行う。

・要支援者避難支援

- 手順① 自力で避難が困難な方を把握し、名簿作成や支援担当者を決める。
- 手順② 避難時に支援担当者は安否確認や声かけを行い、安全な場所への避難を支援する。
- 手順③ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば確認体制の見直しを行う。

■避難所運営訓練

災害発生時に避難所を円滑に開設・運営するため、受付、避難者の誘導、物資配布、生活スペースの設営、役割分担の確認など一連の運営手順を実践する訓練。

■講師派遣による講話・講座

市や中越市民防災安全土会等の講師を派遣し、防災に関する基礎知識、避難行動、AED 等の応急手当、地域の防災体制などについて講話や実技指導を受ける。

■資機材点検

地域で保有している発電機・投光器・無線機・消火器などの防災資機材について、作動状況や破損の有無、使用方法、保管状態を確認し、災害時に確実に使用できるよう点検を行う。

■救助救出訓練（AED 訓練、止血・固定などの応急手当、担架等を使用した救出訓練等）

災害時に動けなくなった要救助者を、安全かつ迅速に救出・搬送するための知識と技能を習得することを目的とした訓練

#

■初期消火訓練（消火器の操作訓練、通報訓練、周囲への避難誘導・安全確保等）

火災が発生した直後の小規模な段階で、消火器や消火栓などを用いて消火活動を行う訓練

【参考】活動報償金額確認表

50 世帯以下	13,000 円	251～300 世帯	25,500 円	中越市民防災安全大学受講 加算分 1 人につき 10,000 円 (学生 5,000 円)
51～100 世帯	15,500 円	301～350 世帯	28,000 円	
101～150 世帯	18,000 円	351～400 世帯	30,500 円	
151～200 世帯	20,500 円	401～450 世帯	33,000 円	
201～250 世帯	23,000 円	451 世帯以上	35,500 円	